

本日ここに、平成26年3月横芝光町議会定例会をお願い申し上げましたところ、議員各位にはご多忙の折にもかかわらず、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

今年度も、残すところあと僅かとなりましたが、お陰をもちまして、計画いたしました諸事業は、おおむね順調に進捗しており、改めて議会をはじめ町民の皆様方のご理解とご協力に深く感謝申し上げます。

さて、2月7日から17日間に亘って開催されました第22回冬季オリンピック・ソチ大会において、日本選手団はメダル8個を獲得しました。

これは、1998年長野大会の10個に次ぐ史上2番目の獲得数であります。

今大会は、10代の若手選手の活躍とベテラン選手の強い意志と熱い思いが感じられた素晴らしい大会ではなかったかと思えます。

私も、2期目の町政を担わせていただいてから、これまで、町民の幸せと町の発展を願い「住み良いまち、活力ある地域社会」をつくるため、強い意志と決意をもって全力で取り組んでまいりました。

私が公約に掲げた各種事業も一步一步ではありますが、着実に前進しているものと考えております。これもひとえに議会をはじめ町民の皆様方のご支援とご協力の賜物と心からお礼申し上げます。

これからの2年間は、合併10周年の節目に向けて、大切な2年間となると考えております。今後の町政運営につきましても引き続き不撓不屈の精神で取り組んでまいりたいと存じますので、議員各位には、これまで以上にご支援、ご協力をお願い申し上げます。

当町の財政状況につきましては、依然として町の各種施策を実施するために必要な費用の6割以上を依存財源で賄っている状況にあります。

今後も合併関連事業に伴う公債費や高齢化率の上昇による扶助費、繰出金の増加等に伴い、財政の硬直化がより一層進むことが懸念され、また、平成32年度には合併市町村の特例措置である合併算定替が終了する予定であることから、次の世代に負担を先送りしないためにも、増大した予算を平成28年度の一般会計当初予算で90億円規模とすることを目標とし、今後、より一層の経常経費削減に向け、事務事業評価制度を本格導入し、抜本的な事務事業の見直しにより、堅固な財政基盤の構築に努めてまいります。

それでは、議会開会にあたり、平成26年度の施政方針を述べさせてい

たきます。

【予算案の概要】

はじめに、平成26年度横芝光町当初予算案の概要について申し上げます。

まず、国の動向ですが、国の平成26年度一般会計予算案は、25年度補正予算と一体となり機動的な財政運営を実現するため「15ヶ月予算」として編成され、その総額は9兆5,823億円で、25年度と比較すると3兆2,708億円の増額となりました。本予算案は、経済再生・デフレ不況からの脱却と財政健全化をあわせて目指すとともに、日本の競争力の強化につながる未来への投資や、生活の基盤を守る暮らしの安全・安心といった事項に予算を重点配分していることに加え、社会保障と税の一体改革を実現する最初の予算として、消費税増収分を活用した社会保障の充実と安定化のための予算の増額が際立っています。また、基礎的財政収支（プライマリーバランス）の改善と国債発行額の減額が数値目標として掲げられていることは、財政健全化の道筋を確かなものとするためにも、できるだけ早期の成立を期待しております。

このような状況下で、当町の新年度の予算規模は、一般会計が9億2,500万円、国民健康保険特別会計が3億6,000万円、後期高齢者医療特別会計が2億2,700万円、介護保険特別会計が2億1,400万円、農業集落排水事業特別会計が5,540万円、東陽食肉センター特別会計が2億3,870万円、病院事業会計が収益的収支では1億3,003万8千円、資本的収支では、収入が1億8,597万8千円、支出が2億5,981万3千円となりました。それぞれ本議会に提案させていただきましたが、病院事業会計を除く6会計の当初予算の総額は、1億5,510万円で、前年度当初予算と比較すると、率で4.2パーセント、金額で6億7,680万円の減額予算となっています。

なお、国の25年度補正予算に係る当町の対応については、本議会へ提案させていただきました補正予算案に日吉小学校屋内運動場改築事業を計上してございます。

それでは、次に主な事業について申し上げます。

【企画財政課】

はじめに、企画財政課関係についてであります。デマンド交通システ

ムの導入につきましては、平成22年度から検討してまいりましたが、私の公約の一つとして、去る平成24年4月の臨時議会における所信表明において、「デマンド交通システムの導入を積極的に進める」としたところであり、町といたしましても、町民生活の利便性の向上を図るうえでの重点施策として取り組んでまいりました。

これまで、利用者アンケート調査や町民意見交換会等を実施するとともに、議会並びに利用者の代表をはじめ旅客自動車運送業者など関係機関からなる「横芝光町地域公共交通会議」で検討を重ね、平成26年度においてデマンドタクシーの導入による新たな交通システムの運行がスタートすることになりました。

次に、空港対策室関係につきましては、成田国際空港に離発着する航空機による騒音対策の一環として、新たに航空機騒音対策空気調和機器設置事業を実施したいと考えております。

この事業は、町が指定した地区の住宅を対象にして空調機を設置する場合に、その経費の一部を助成するもので、実施期間は、平成26年度から平成28年度までの3年間を予定しております。

なお、事業内容については、1月に開催いたしました成田国際空港関連問題対策委員会に諮り、御承認をいただき、新規事業として平成26年度当初予算案に所要の経費を計上させていただきましたのでよろしくお願いいたします。

【環境防災課】

続いて、環境防災課関係についてであります。宮川地先の旧ひかり食品跡地での微量PCB廃棄物処理施設につきましては、橋場区はもとより、多くの町民の皆様にご心配をかけてまいりましたが、1月28日の議会全員協議会でもご説明しましたとおり、建物の解体工事が1月22日より開始され、試験研究に使用されました、微量PCB汚染廃棄物のトランス及び絶縁油、洗浄液のほか試験装置の全部について、愛知県春日井市へ搬出されたことを2月18日に、千葉県廃棄物指導課の職員とともに確認をいたしました。

また、試験研究に使用された建物については既に解体済みで、その他の建物についても3月29日までには、解体工事が終了する予定であります。これにより、微量PCB廃棄物処理施設の問題については、解決したものと確信しております。

今後とも、横芝光町の住みよい環境を守り、快適で健康なまちづくりを町民の皆様とともに推進してまいります。

次に、防災関係事業につきましては、平成24年度から継続事業で実施しておりました地域防災計画の改定が、3月下旬に開催する防災会議を経て、完了する見込みとなりました。

地域防災計画の改定に併せて、防災マップの「津波編」と「洪水・土砂災害編」を作成し、地域防災計画概要版と一緒に5月上旬をめどに町内全戸に配付する予定でございます。

津波一時避難施設として指定している「白浜小学校、上堺小学校及び光楽園老人ホーム」の屋上への津波避難用外階段設置工事と「屋形立会地先の津波避難タワー建設工事」については、本年度事業で財源補てん措置のある有利な起債事業採択を受け、設計業務を進めておりますが、建築資材及び労務単価の度重なる増加に伴い事業費の増額を行う必要が生じたため、年度内の工事完了が困難となったことから、繰越明許事業として実施すべく補正予算案に計上させていただきましたので、ご承認賜りますようお願いいたします。

【産業振興課関係】

続いて、産業振興課関係についてであります。農業行政関係につきましては、現在、国では「攻めの農林水産業」が展開されており、昨年12月に米の生産調整（減反）の5年後の廃止と、減反に参加した農家に支給する定額補助金の段階的な撤廃などを柱とした農業の活性化策「農林水産業・地域の活力創造プラン」が取りまとめられました。農業を足腰の強い産業としていくための産業政策と、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域政策を推進し、政策転換ではこれまで小規模・零細農家の保護を優先してきた農政から脱却し、競争力のある大規模農家を育てて農業を成長産業とする狙いがあります。

具体的方策としては農地中間管理機構の創設、経営所得安定対策の見直し、水田フル活用と米政策の見直し、日本型直接支払制度の創設という4つの農政改革がございしますが、実施にあたっては、まだまだ不透明な部分もございしますので、改革の実行元年となる平成26年度町予算執行については、これら4つの改革に注視して町農政の事業を展開して参りたいと考えております。

次に、農業生産基盤整備関係につきましては、当初、平成20年度から

6か年で計画されておりました篠本新井地区の県営基盤整備事業が、農業農村整備予算の削減などの影響により事業の進捗が遅れたために、工期を3か年延長し平成28年度完成を目指して事業が進められているところがあります。

今後とも昨年同様、国の農林水産予算における農業農村整備事業費が拡大される見込みであるため、計画どおりに事業が完了できるものと考えております。平成26年度の篠本新井地区の事業内容は、2つ目の排水機場建設や排水路整備、暗渠排水整備などが計画されております。

また、同地区内で基盤整備と連携して工事が進められてきました国営両総土地改良事業の栗山川統合機場は、平成25年度末にはすべての工事が完了し、今年の稲作からは新しい施設からパイプラインによる用水供給が開始されます。これに伴い、老朽化が激しかった両総南条支線の用水施設も県営事業により更新を行うべく、両総土地改良区南条支部管理委員会から土地改良事業の施工申請書が千葉県に提出され、平成25年度途中に県営かんがい排水事業として採択され、用水施設整備が開始されたと伺っております。

これら農業農村整備事業は、大小にかかわらず農業の持続的発展と食料の安定供給、更に多面的機能を発揮するため重要な施策であり、当町における担い手確保のために今後も積極的に実施して参りたいと考えております。

なお、国営土地改良事業による営農効果を発揮し、他の模範となる組織が受ける国営土地改良事業地区営農推進功労者表彰に、関東地区でただひとつ、篠本新井土地改良区が選ばれ、去る2月27日に関東農政局にて表彰式典が開催され、栄誉ある賞を受賞されました。これも鈴木克征理事長をはじめ、土地改良区と地区の皆様が協力し、土地改良事業と集落営農に取り組んだ努力とご尽力の賜物であり、敬意を表したいと存じます。これを契機に町農業のリーダーとして、更なる発展と活躍をご期待申し上げます。

【都市建設課関係】

続いて、都市建設課関係についてであります。道路整備事業につきましては、町の一体性の向上を図るための東西方向の連絡道路である清長大橋を含むI-14号線や、当町の骨格となる幹線道路網を形成するI、II級町道5路線の整備を引き続き推進してまいります。

また、住民生活の利便性の向上を図るため、身近な生活道路の環境整備も行っておりまいます。

次に、横芝駅前広場整備事業につきましては、本年度内に事業区域内の用地取得、建物等の移転が完了するため、平成26年度は全面的に工事を実施する予定であります。平成22年度から千葉県が進めている駅前変形交差点の解消を主目的とした県道横芝上堺線道路改良事業との一体的な整備が欠かせないことから、千葉県山武土木事務所と緊密に連携を取りながら、事業の完成を図ってまいります。

次に、建設から約45年以上を経過した町営住宅の老朽化対策につきましては、平成24年度に策定しました町営住宅長寿命化計画に基づき、平成26年度より社会資本総合整備交付金の補助を受け、小田部住宅から順次改修工事を実施することとしております。

【福祉課関係】

続いて、福祉課関係についてであります。消費税の引き上げに伴う負担の影響に鑑み、暫定的・臨時的な措置として支給することとなります。臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金につきましては、現在行っております町県民税等の申告に基づき対象者が決定いたしますので、支給に向け準備を進めてまいります。

また、私の公約の一つとして平成25年4月から高校1年生まで対象を広げ実施いたしました児童医療費助成事業につきましては、更なる子育て支援の充実を図るため、平成26年4月から高校2年生まで対象を広げ実施すべく、現在準備を進めております。

次に、障害福祉につきましては、平成23年度に策定した第3期障害福祉計画が平成26年度で終了することから、第4期障害福祉計画を策定するとともに、平成29年度までを計画期間とする第2次障害者基本計画を改定し、計画の着実かつ効果的な推進に取り組んでまいります。

また、聴覚障害者のコミュニケーション支援のため、山武郡市共同による手話奉仕員養成研修事業を新規に実施すべく、平成26年度当初予算案に所要の経費を計上させていただきました。

なお、平成27年度から現物給付化が見込まれております重度心身障害者（児）医療費の給付事業についても所要の準備を進めてまいります。

【教育課関係】

続いて、教育課関係についてであります。平成26年度当初予算で予定をしておりました日吉小学校屋内運動場改築事業につきましては、予算案の概要でも申し上げましたが、国の平成25年度第1次補正予算(好循環実現のための経済対策)として、国庫補助事業での実施が可能となったことから、補正予算案に所要の経費を計上させていただきましたのでよろしくお願いいたします。

なお、国においては、全国での補助事業採択希望の集計結果によっては、補助単価の上積みを検討しているとのことから、歳入の増が見込める場合は、国からの確定情報があり次第、対応を取らせていただきたいと思いますと考えております。

次に、児童クラブの運営につきましては、児童クラブの入所希望者が年々増加し、平成26年度においては40名程度の待機児童が発生することが見込まれています。

そのため、一部既存の児童クラブの定員を増やすとともに、東陽病院託児所を使用し、臨時的に児童クラブを開設する措置をとることにより、平成26年度児童クラブ入所における待機児童の解消を図ってまいりたいと考えております。

なお、平成26年度中に『子ども子育て会議』におけるニーズ調査結果を踏まえ、今後の学童保育事業の展望を鑑み、児童クラブの拡充に努めてまいります。

【社会文化課関係】

続いて、社会文化課関係についてであります。懸案でありました光スポーツ公園の外トイレの改修工事を行う予定であります。老朽化により雨漏りや器具等の故障でご不便をおかけいたしました。安心して気持ちよくご利用いただけるよう環境整備に努めてまいります。

また、平成26年4月より町体育館と横芝B&G海洋センター体育館並びに学校施設開放事業に伴います各小中学校の体育館につきましては、電気料金の高騰をはじめ適切な施設運営のために、新たに照明料金を設定させていただくこととなりました。ご利用される皆様にご負担をおかけいたしますが、ご理解とご協力をいただきたくお願い申し上げます。

なお、生涯学習事業につきましても社会の変化に対応できるたくましい子どもの育成や町民の皆様の自主的な文化・スポーツ活動などの支援等、誰もが、いつでも、関心ある学習やスポーツ活動に取り組み、その成果を

活かすことのできる環境づくりを進めてまいります。

次に、図書館関係につきましては、図書館は、おかげさまで本年11月に開館20周年を迎えます。この記念イベントとして、11月3日の開館記念日に、仮称「図書館まつり」を開催する予定であります。

【東陽食肉センター】

続いて、東陽食肉センター関係についてであります。消費者は、食肉の流通に対し安心・安全を求めており、食肉処理場における衛生対策は、ますます重要になってきています。

本年度、時代に即した衛生環境確保のために計画した枝肉カット処理室改修工事、懸肉室・予冷室のレーン・ポイント改修工事等は、センター利用関係者のご理解とご協力により順調に進捗し、予定どおり完了することができました。関係者の皆様方には、深く感謝申し上げます。

いずれにしましても、食肉センターを取り巻く環境は一層厳しさを増しておりますが、今後も安心・安全な食肉の流通に努めるとともに、より一層の経費削減を図り、独立採算制の堅持と長期に渡る安定した経営を目指してまいります。

【東陽病院関係】

最後に、東陽病院の運営状況についてご説明申し上げます。

1月末現在での延べ患者数は、入院で17,149人、病床利用率は56.0パーセントでございます。昨年と比較しますと4,825人の増、病床利用率では15.7ポイントほど増加している状況であります。外来は延べ35,721人で昨年と比較し、1,963人の増となっており、これらにより医業収益の増加が見込まれるところであります。

健全経営には患者確保が必要不可欠であり、東陽病院運営検討委員会を開催し協議を行った結果、入院患者の確保等をより一層努めていくこととしました。

続きまして、平成26年度当初予算案の概要であります。安全で質の高い医療を提供するため、手術環境の整備に重点的な予算配分を行い、医療収益については、手術・入院患者等の増を見込み積算したところであります。一方、費用では、引き続き業務委託による経費の削減等、効率的な運営をすべく編成したところであります。

また、建設改良費につきましては支出では老朽化に伴う外壁改修工事及

び医療機械等の更新を計上し、施設整備を図ることといたしました。

以上、平成26年度における施策の一端を述べさせていただきましたが、職員一丸となり計画事業を効率的かつ効果的に推進してまいりますので、議員各位には、更なるご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、新年度予算を始めとする関連諸議案にご賛同賜りますようお願い申し上げます。